



刺巻湿原ミズバショウまつり

この地に春の訪れを告げる刺巻湿原のミズバショウが、早いところでは4月上旬から咲き始め、4月下旬に見ごろを迎えました。4月8日から5月5日まで、刺巻湿原ミズバショウまつりが開催され、昨年より3,700人多い13万3,700人が訪れました。休日には、県内外から訪れた大勢の観光客が、清楚に咲く乳白色のミズバショウを眺めたり、カメラに収めたり、ミズバショウの魅力を満喫していました。

ハンノキ林に囲まれた湿原約3畝に、6万株といわれているミズバショウが、一面に自生しており、近年ではザゼンソウやかたくりなども多く咲き、木道を通してこれらの花を近くで見られるよう整備されています。国道沿いでこれだけの群生が見られるのは非常に珍しいようです。



八津・鎌足かたくり群生の郷

雪解けが遅く、4月下旬からかたくりの花が咲き始めました。ゴールデンウィークにあわせたかのように5月上旬見ごろを迎え、4月16日から5月5日まで予定していたかたくり園の開園を10日まで延長して開園しました。期間中は、昨年より2,500人ほど多い約3万2,600人が訪れ、可憐に咲く花のじゅうたんに見入っていました。



このかたくりは、日本一大きい「西明寺栗」の栗林に自生しています。群生地規模は約20畝にも及び、国内最大級と言われています。この群生地は、地域のみなさんが「八津・鎌足カタクリ福寿草保存会」を結成し、発芽してから開花するまでに8年かかるかたくりの保存と園内の管理に努めています。



仙 花北 満市 開



特設舞台では、飾山嘶子が披露され観光客に喜ばれました。

角館の桜まつり

例年になく大雪に見舞われ、4月になってからも雪が降るなど天候不順と気温の低下で、開花が大幅に遅れ心配された今年の桜まつりでしたが、シダレザクラが4月29日、ソメイヨシノが同30日に咲き始め、ゴールデンウィークにあわせたかのように見ごろを迎えました。また、咲き始めてからの天候にも恵まれ、過去最高だった昨年を上回る15万9千人を上回る156万7千人の人出を記録。歩行者天国となった武家屋敷通りをはじめ町中が人で溢れました。



ライトアップされ、暗闇に浮かび上がる夜桜も人気スポット。夜遅くまで人の波は途切れません

